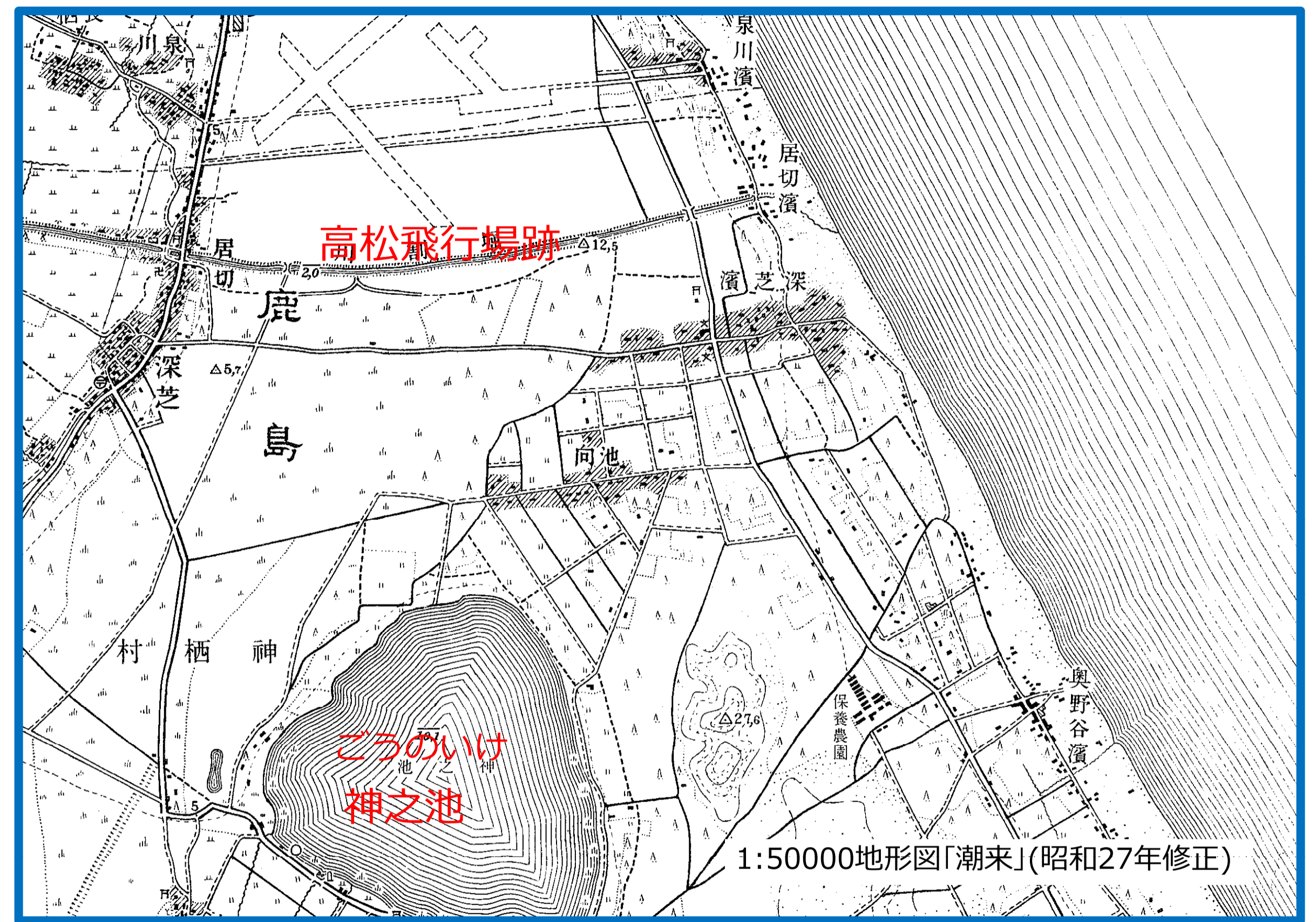


# 港を掘込み工業立地した国家プロジェクト (鹿島臨海地域)

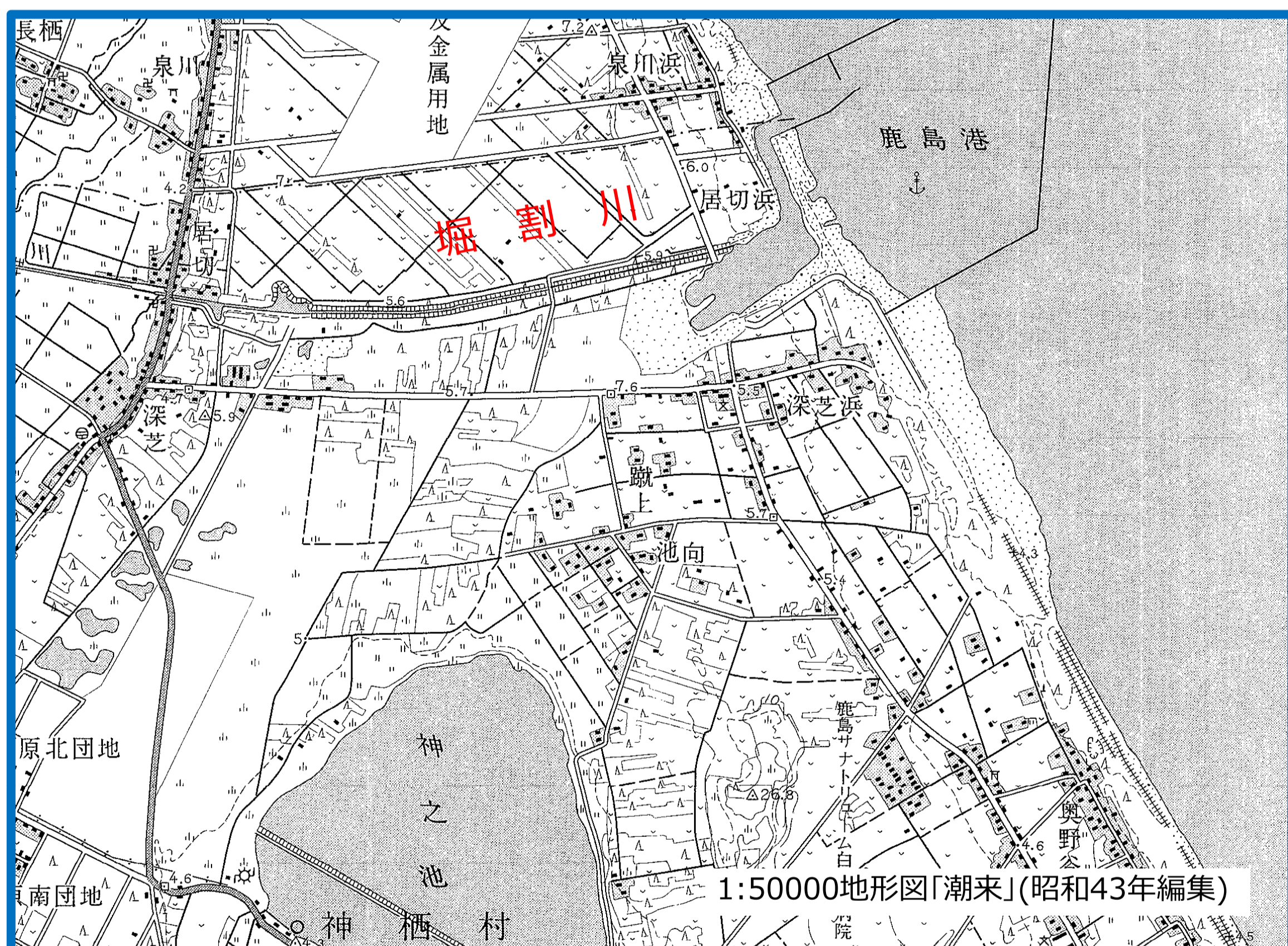
茨城県南部の鹿島灘の鹿島市・神栖市に広がる鹿島臨海工業地域は、1972(昭和47)年の海岸から内陸に向かいY(ㄱ)字形に掘込(掘削)工事により港湾整備を行う壮大な造成計画から始まりました。



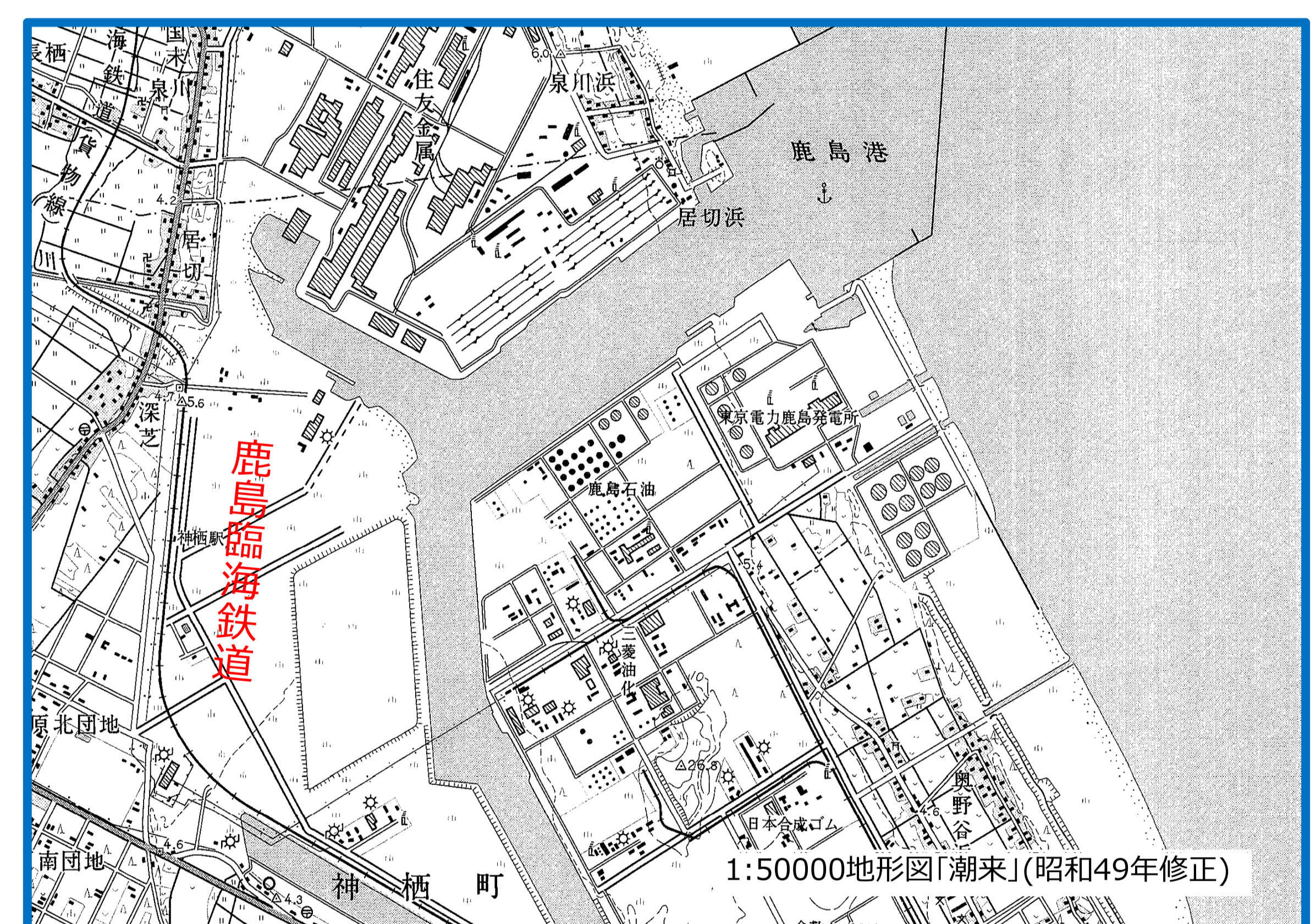
砂丘が続き海岸線と平行に並ぶ集落、主産業は畑作と沿岸漁業に頼っていました。



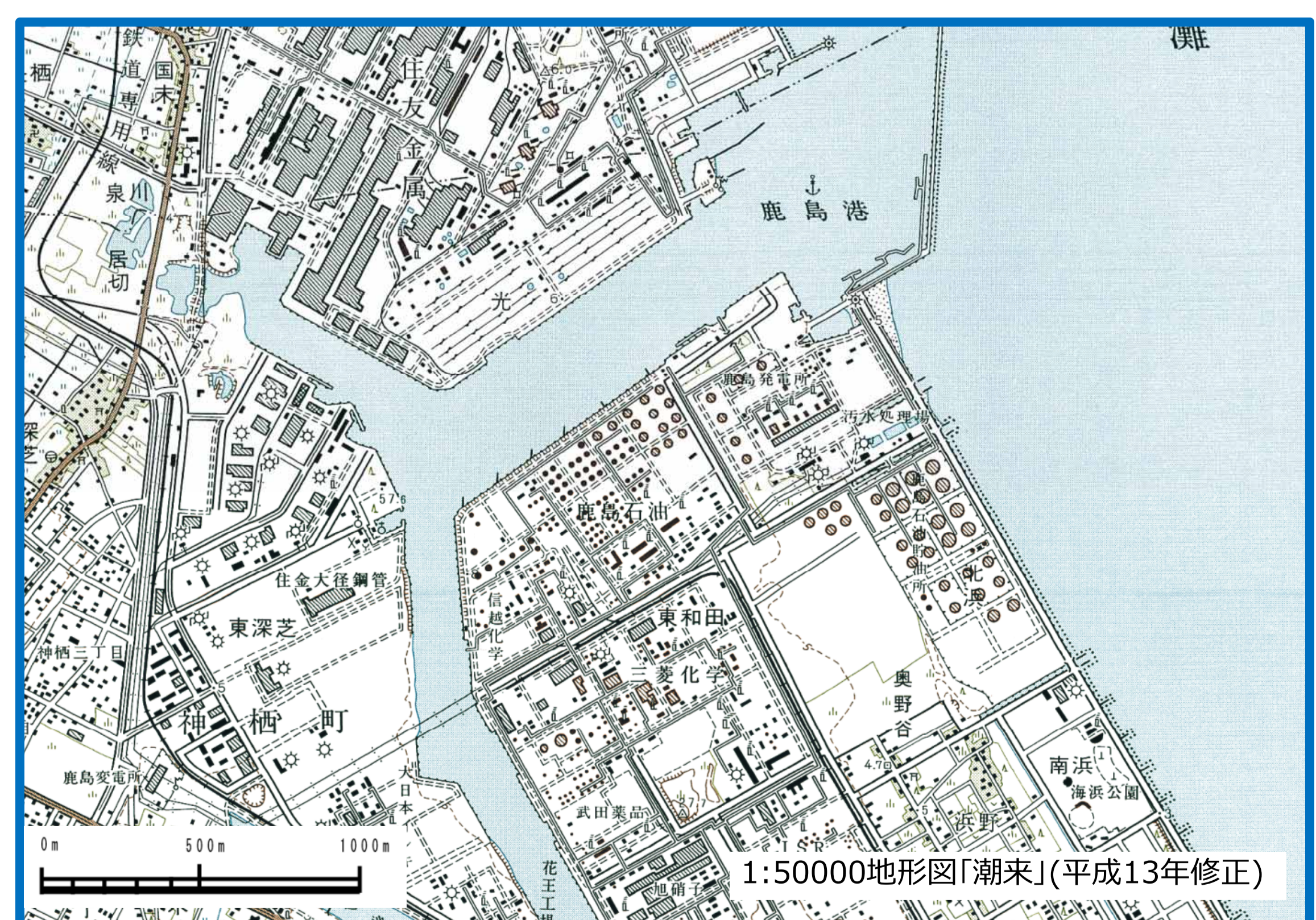
第二次大戦時中の神之池航空隊高松飛行場の跡が残っていました。



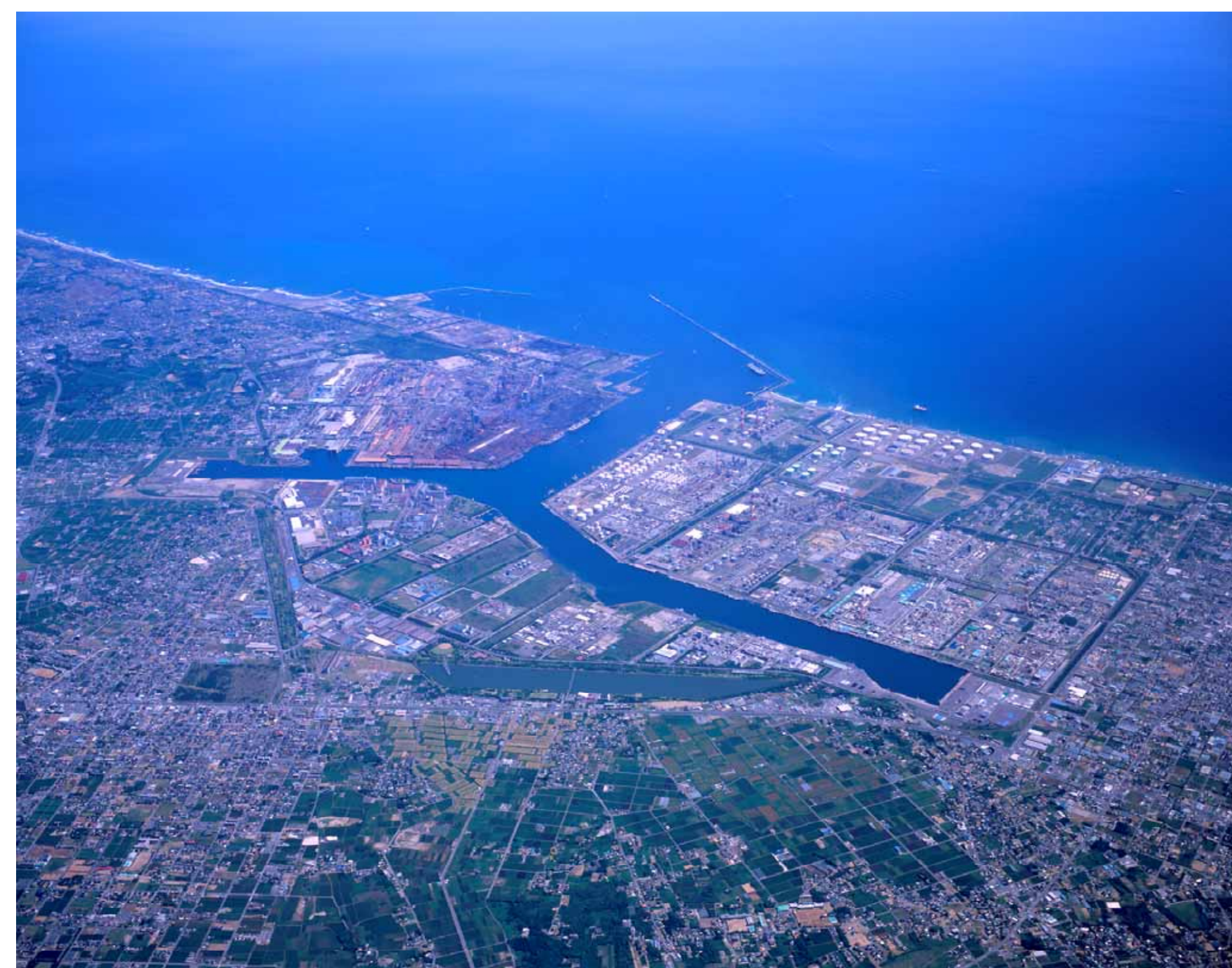
1964(昭和39)年、居切浜から掘割川に沿っての掘込が始まりました。



工事が終了し、10万tクラスの船舶が利用できる重要港湾として整備され、また、1985(昭和60)年に鹿島臨海鉄道の貨物線が開通、「神之池」はほとんど埋立てられ一部残りました。



重化学工業を主とした工業地域として大きく変貌を遂げました。



提供(関東地整 鹿島港湾・整備事務所)

現在の鹿島港